

4 年 2 組

「生き物も私たちが気持ちよく過ごせる大池にしたい」 ～大池クリーンプロジェクト～



「大池に水が流れていない！」

4月、新しいクラスと新しい担任との出会い。新しい気持ちでスタートした4年2組の子どもたち。担任に学校案内をしようとみんなで外に出かけていきました。学校をぐるっと回っていくと、体育館の裏に気になるホースを見つけました。そのホースがどこまで続いていくのかをたどっていくと、大池に着きました。大池では、すでに多くの子どもたちが、何やら協力して活動をしていました。子どもたちは、「大変！大池に水が流れてない」「葉っぱや泥で水が流れていないんだよ」と、大池に流れるはずの水が、大池に流れる前に止まってしまっている状況を何とかしようとしていました。Aさんは、身を乗り出して葉っぱや泥を手ですくい、Bさんはスコップを持ってきて葉っぱをすくっていました。少しずつ水が流れ始めると、Cさんは、「大池に汚い水が入ってしまう」と、大池に水が注ぎ込むところにざるを置き、少しでもきれいな水が流れ込むようにしていました。Dさんは、ホースが折れて水の出が悪くなることを気にして、レンガを積んでホースが折れないようにしていました。

活動後、子どもたちは、「大池にいろんなものが落ちていた」「大池が汚かった」「私たちが1年生の頃はもっときれいで、いろんな人が大池に入っていた」「今はもう汚くて大池に入ろうとは思わない」など、大池の現状や数年前の大池の様子を語っていきました。そして、「今のままじゃ大池で1年生も気持ちよく遊べないと思うから、大池をきれいにしたい」「大池をきれいにして、昔みたいにみんなが遊びに来る大池にしたい」「みんなが気持ちよく過ごせる大池にしたい」「自分たちもそうなんだけど、生き物や虫も自然に過ごせるようにしたい」と、大池で遊ぶ人も、大池でくらしている生き物も、みんなが気持ちよく過ごせるような大池にしたいという願いをもって活動をしていくことになりました。



拾っても拾っても・・・

大池を気持ちよく過ごせる場所にしたいと、大池に落ちているものを拾い始めた子どもたち。大池には木の枝や葉っぱなどがたくさん入っていたり、使えなくなった網やペットボトルなどのゴミも入ったりしていました。Eさんは、大池の中に落ちているレンガを網をうまく使って拾い上げ、Fさんは大池の中や周りに落ちているゴミを拾っていました。Gさんは、スコップを使って木の枝を集め、大池の外に出していました。活動の度、子どもたちはゴミなどを拾っていたのですが、「こ



の前拾ったサンダルがまた大池に入っている」「拾っても拾ってもまたゴミを入れられてしまう」と、前に拾ったものが再び大池に入っていることに気づき、「拾ったゴミとかはちゃんと片付けた方がいい」「ゴミはゴミ袋に入れよう」「レンガや木の枝も、近くに置いておくと、また大池の中に入れられちゃうから、ちゃんと片付けよう」などと語っていききました。その後、大池のゴミを拾っていくと、「落ちていたゴミは少なくなってきた」「木の枝や葉っぱはほとんど取れた」と、大池に入っているゴミなどを取ってきたことで、子どもたちは大池がきれいになってきた実感を得ている様子でした。それでも、まだまだいろいろなものが落ちている大池。これからも大池に通いながら、みんなが気持ちよく過ごせるように大池の環境を整えていきたいです。



こんなに生き物がいたんだね

4年2組には今、たくさんの生き物がいます。オタマジャクシやドジョウ、フナ、ハゼ、ザリガニ、エビ、ヤゴ・・・すべて大池で捕まえた生き物たちです。初めは大池が汚れてしまい、生き物が少なくなっていると感じていた子どもたちでしたが、大池で何度も生き物を捕っていくにつれて、様々な生き物が大池で暮らしていることが分かってきました。最近では、マツモムシやゲンゴロウ、コオイムシ、ガムシなどの水生昆虫も見つけ、まだまだ大池にはたくさんの種類の生き物が暮らしているのではないかと期待を膨らませています。

Hさんは、捕まえた生き物が何かを調べ、スライドにまとめ、大池で暮らす生き物を記録しています。Iさんは、大池の中にどんどんと入っていき、網を使ってたくさんの生き物を捕まえていく中で、どんなところにどんな生き物がいるのかが分かってきているようです。大池の生き物マップをつくるのも楽しそうですねと話しています。

様々な生き物が暮らす大池の魅力をたっぷり味わっている4年2組の子どもたち。これからさらにどんな活動に発展していくか、とても楽しみです。

